

ユニット名	すずらん
-------	------

自分が入居者の立場なら…。と置きかえて考え、行動する

施設長	主査	作成UL

行動計画表

区分	項目	ねらい	具体的行動計画(実践をするために何をするか)			実施結果と今後の展望
			だれが	どのように	いつまでに	
1 個別ケア	1・5	・スタッフ全員が同じ方向性でケアができる。	ユニットリーダー ケアワーカー	1) 毎月のカンファレンス・ユニット会議にて、理念の暗唱・老人福祉法 第33条の復唱。カンファレンス・ユニット会議を基本的に全員参加とする。(第1・第3水曜日を基本とする) 2) ユニット内で、ユニットケア推進委員を作り、月に1回ユニットケアについての勉強会を30分程度でおこなう。	H32.3.31	
	2	・ケアの根拠がわかる。	ユニットリーダー ケアワーカー ケアマネジャー 生活相談員 看護職員	1) 月初めのカンファレンスで24時間シートの見直しをおこなう。(ケアプラン作成月毎) 2) 月末までに24時間シートを修正し、提出する。 3) 状態変化が続く場合はケアマネジャーに相談し、カンファレンス対象者とし、24時間シートを作りなおす。 4) 違うことをしているスタッフには根拠を説明し、その都度指導する。	H32.3.31	
3 それぞれの暮らしの継続	4	・排泄のムダをなくす。	ユニットリーダー ケアワーカー	1) モバイル上で、パット内の尿量・トイレ内の尿量を入力し、排泄リズムを知る。(交換時間、パットの種類の根拠になる) ・はかり、尿取りバケツ等の購入。 2) パット内での排泄を減らし、トイレ内での排泄を全スタッフで目指す。 ・対象者をしばって、誘導する。 ・勉強会の実施。 3) おむつゼロへの取り組み ・紙製品から布パンツへ。 ・朝食後にトイレでしばらく座ることでの排便促す。(常用した下剤の中止につながる) 4) リリアムの使用、勉強会の実施。	H32.3.31	
	13	・美味しく食事ができる。	ユニットリーダー ケアワーカー 管理栄養士	1) 食事提供時間以外の時間でも食事として提供できるものをユニットに常備しておく。(味噌汁、レトルトの副食等) 2) 目で見て、「食べたい。」と思う食事提供の仕方をする。(できる限り、常食での提供する方法を考え提供する) 3) 自己にて食べるよう、提供方法も工夫する。 4) 食事についての勉強会の実施。	H32.3.31	
	24・25	・行きたい場所に出かける。	ユニットリーダー ケアワーカー ケアマネジャー 生活相談員	1) 「家に帰る」と訴える時、その理由に寄り添い、数分でも家に帰る機会をつくる。(家族様に事前に許可をとっておく) 2) 外出前後の様子を家族様にホームページなどを活用し、報告する。	H32.3.31	

行 動 計 画 表

区分	項目	ねらい	具体的行動計画(実践するために何をするか)			実施結果と今後の展望
			だれが	どのように	いつまでに	
その他	APC(アドバンスケアプランニング)看取りについて	・寿命を全うすることができる。	ユニットリーダー ケアワーカー ケアマネージャー 生活相談員 看護職員 管理栄養士	1) 自らの意思を伝えることのできる方には事前に、最期の過ごし方を聞き取る。そうでない方は、日頃の様子観察で「この方の最期は…」と考えておく。 2) 家族様にも、看取り期になる前から最期について考えていただけるよう、ホームページや玄関で発信していく。 3) 看取り期に入った後も、家族様の意向や、入居者の様子観察にて望まれているような最期をむかえていただく。	H31.3.31	
	サービスの質の向上	・入居者の望む生活を続けることができる。	ユニットリーダー ケアワーカー	1) 入居者一人ひとりの残存機能を全スタッフで共有しケアする。 一時間がかかっても、できることまで介助しない。どうしたら自分のできるかを考える。 2) 入居者の望む活動をスタッフのケアによってできる。(農業等)	H31.3.31	
	認知症ケアの向上	・スタッフが入居者にとって最も信頼できる存在になる。	ユニットリーダー ケアワーカー	1) 認知症の種類によってケア方法が違うことを実際の事例をもとに発信していく。 2) 認知症の改善に資するケアの基本の勉強会。DVD鑑賞。 3) 実際に自分がケアする中で、認知症の改善に資するケアの方法で「接する事で入居者の反応の違いを感じてもらおう。(ユニット会議などで確認する)	H31.3.31	
	ユニットケア推進委員会	・月に1度、「ユニットケアとは。」を考える機会を作ることで、私たちが提供したケアを振り返ることができる。	ユニットリーダー ケアワーカー	1) ユニット内で、ユニットケア推進委員を作り、リーダーと共にチェックリスト項目について話し合う。 2) ユニットケアチェックリストの項目に沿いながら毎月のユニット会議で発信する。 3) 全スタッフが同じ思いでケアできる。	H31.3.31	
	リフト浴	・入居者が安全に入浴できるとともに、スタッフの腰への負担軽減を図る。	ユニットリーダー ケアワーカー	1) 対象の入居者の状態に合っているか、カンファレンス時に確認する。 2) リフト浴の不備がないか定期的にスタッフにも確認し、不備があれば早急に上司に報告する。 3) 入居者の安全、スタッフの腰痛を更に軽減するために浴槽の位置を変更する。(リーダーより上司に報告済みの件)	H31.3.31	